

アジア圏における 原子力安全のイマと 未来について 考えるシンポジウム

原子力耐震安全・人材育成

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

目的

Purpose

本シンポジウムはアジア圏の研究者と学生が原子力安全を柱として「耐震安全及びシステム安全をどのように考え、将来の原子力安全の向上につなげるか」を目的に開催されます。

開催日時・場所

Date & Location

日時

2016年11月30日(水) 13:30-17:15

場所

東京都市大学
東京都世田谷区玉堤1丁目1-28-1



※本シンポジウムは、文部科学省の原子力人材育成推進事業費の補助を受け実施しております。

プログラム

Symposium Program

13:30~13:35

開会

学生代表挨拶：内田 一真(東京都市大学)

13:35~15:15

(50分×2、発表40分
質疑応答10分)

Ting Chow氏(台湾)(原子力耐震安全)

●講演タイトル：

An over view of Seismic Safety Enhancement in Taiwan's NPPs toward the Continuous Use of Nuclear Energy

Dr. Sungook Cho (CEO,R&D Center,Innose Tech Co.,Ltd.)

●講演タイトル：Comparative Evaluation of In-Cabinet Response Spectrum for Electrical Cabinets in Nuclear Power Plant

15:15~15:30

休憩

15:30~16:40

(発表15分、質疑応答5分
転換3分)

【学生発表】

梅崎 俊吾(東京都市大学 修士2年)

●講演タイトル：

福島事故後の原子力安全の変化と振動発電による加速度センサ駆動試験

富田 紀昭(東京電機大学 修士1年)

●講演タイトル：

積層ゴムを用いた原子力発電施設の免震構造

岡野 亮(早稲田大学 修士1年)

●講演タイトル：

垂直円管上昇流での非定常ドライアウトモデルを用いた限界熱流速予測に関する研究

16:40~17:00

閉会

先生方からのご挨拶：

古屋 治氏(東京電機大学)・牟田 仁氏(東京都市大学)